

# 果樹の主要な病害虫の発生状況（10月下旬）

## 1 ナシ

### (1) ナシ黒星病

ナシ黒星病の秋型病斑の発生ほ場割合は、県北では例年並、県中・県南ではやや低い、浜通りは高い状況でした。なお、浜通りの発生確認は「いわき」のみであり、浜通り北部は低い状況でした。よって「いわき」以外は例年並～低い状況でした（図1）。

ほ場における秋型病斑の発生状況に応じて、落葉処理を実施しましょう。

落葉処理は、季節風の吹く方向に対して直角の方向に、幅及び深さ30～40cm程度の溝を掘ると自然に落葉が集まるので、翌年の発芽前までに埋め戻す方法、乗用草刈機やフレールモアを用いた落葉の粉碎処理を行う方法があります。粉碎処理に当たっては、原形をとどめた落葉が残らないよう丁寧に実施してください。

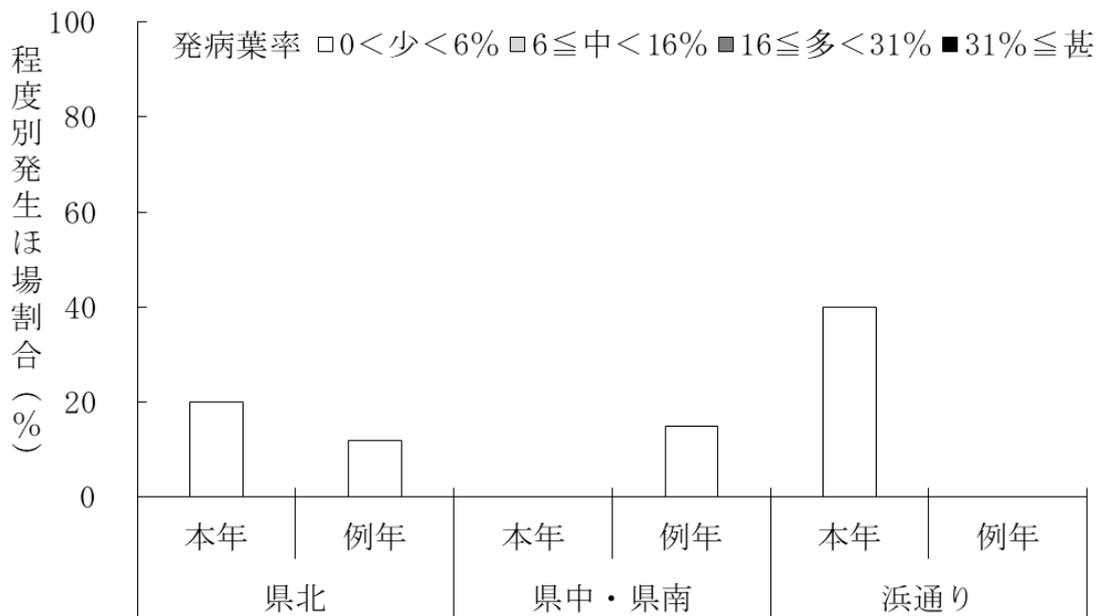


図1 ナシ黒星病の秋型病斑の新梢葉での発生状況（10月下旬、幸水）  
※例年は県北は直近3年間、県中・県南及び浜通りは直近2年間の平均